

「学びの教室」

令和5年5月1日
 特別支援教室「学びの教室」
 巡回指導拠点校・通級指導校
 文京区立駒本小学校
 校長 篠遠 信行
 文京区立汐見小学校(巡回校)
 校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

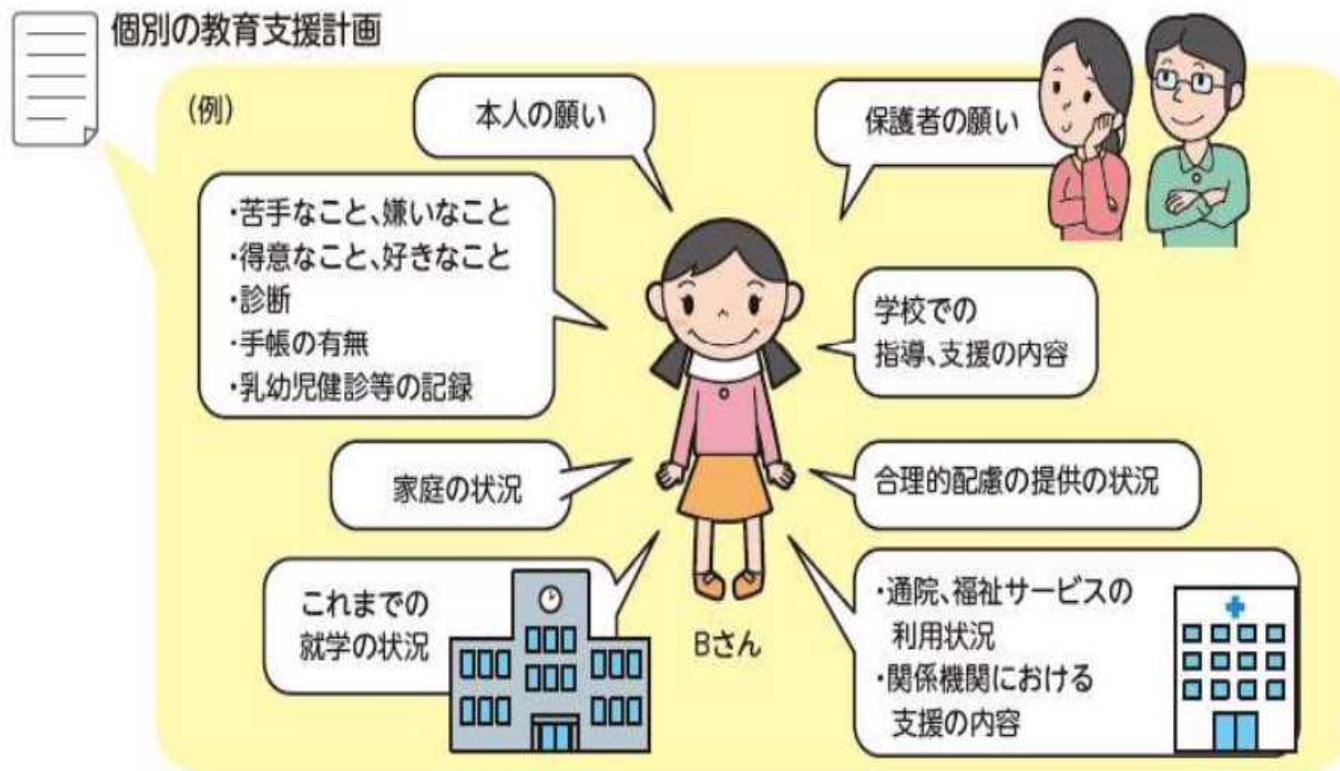
通信

個別の教育支援計画

気温の乱高下が続いた感がある4月があっという間に終わり、5月になりました。お子さん達も新しい学校・学年での生活にやっと慣れてきた頃ではないでしょうか。

さて、文京区では、主に特別支援教室を利用するお子さんや特別支援学級に在籍するお子さんを対象として、年度当初に学校で「個別の教育支援計画」を作成することになっています。以前の教室通信でも紹介しましたが、「個別の教育支援計画」は、文部科学省によると“願い、障害による困難な状況、支援の内容、生育歴、相談歴など、児童に関する事項について、本人・保護者も含めた関係者で情報共有するためのツール”とされています。お子さんのこれからの進級・進学の際も支援や配慮を提供を受けるため際にも利用できるとても大切なものです。

作成の際には、学校は、ご家庭（保護者）と十分に相談することが求められており（文部科学省省令平成30年第27号）、学級担任と「個別の教育支援計画」について面談を行う際は、現在のお子さんの状況を踏まえた上で、これまでの支援や配慮に関する情報についてもできるだけ詳しくお伝えいただければと思います。



<6月のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「ジャンボジェンガ」

特別支援教室利用児童の多くから支持を集める人気の教材です。大型のブロックを使ったバランスゲームです。「達成感や楽しさを味わい、進んで活動したり最後まで取り組んだりする態度を養うこと」「ブロック全体を大きな視点で捉える力を向上させる」「微細運動の向上」などをねらいます。

●学習指導要領「自立活動」関連項目

4 環境の把握

(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること

5 身体の動き

(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること



「アハ!ショット」

電子黒板に投影された2枚一組の写真を見比べて違うところを探す、「違うところ探し」です。それぞれのグループの生活年齢や特性に応じて、手がかりを減らす、既に解答した部分を隠して示すなどの工夫をします。このように、認知的な負荷を調整することで、視覚的な短期記憶の向上につなげたり、注意の持続を向上させたりすることをねらいます。

●学習指導要領「自立活動」関連項目

4 環境の把握

(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること

(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること